

ケータイで得たもの、失ったもの

あかね……高校2年生、千葉在住

いずほ……大学1年生、東京在住

リサ……高校2年生、アメリカ在住



あかね

中学1年生からケータイを持っています。自宅から中学校までが遠かったので、心配した両親が買ってくれました。1ヵ月の料金は5,000円ぐらいで、両親が全部払ってくれています。



いずほ

第一志望の高校に合格したお祝いに、両親がケータイをプレゼントしてくれました。今使っているケータイは4台目です。1ヵ月の料金は8,000円ぐらいです。高校生のときは全部両親が払ってくれていました。今は、アルバイトをしているので、8,000円を超えた分は自分で払うことになっています。



リサ

交換留学生として、昨年の9月に日本に来ました。中学3年生のときからケータイを持っています。アメリカにいる時は、一年分の通話費として、1万円相当のプリペイド・カードを両親からもらっていました。日本では1ヵ月に3,000円ぐらい使っています。

「くりっくにっぽん」では、彼らの声を聴くことができます。

Q: ケータイはいつも持っていますか。また、よく使う機能は何ですか？

いずほ: ぼくは、だいたいいつもケータイを持っています。お風呂にも持って入ります。湯船につかって電話したり、音楽を聴いたりするのが好きなんです。お風呂で反響する音がいいんですよね。ぼくがいちばん使う機能は電話です。電話のほうがメールよりも気持ちがちゃんと伝わると思うからです。ゲームやスケジュール帳などいろいろな機能を使うのも好きですね。今、すごく夢中になっているのがGPSです。今日も、ケータイで地図を見ながらここに来ました！

あかね: わたしは学校に必ず持って行きますが、放課後まで電源を切っています。家に帰ってもいつも手元に置いて

日本では高校生の96%以上がケータイを持っています。ケータイはいまや高校生にはなくてはならない必需品となりましたが、使い方はさまざまです。どんなふうにケータイを使っているのかなどについて3人に話を聞きました。

おくわけではないですね。ケータイでは、メールと電話をよく使いますが、時々写真も撮ります。それから、電車の時刻とか映画の上映時間などを調べたりもします。

リサ: 学校にケータイを持って行くときもあれば、持って行かないときもあります。いつも電話で誰かにつかまるような生活は好きじゃありません。

Q: メールは誰とどれぐらいしますか。

あかね: メールを打つのが遅いので友だちとはあまり頻繁にはしません。家族とはお互いに時々、メールをします。父からは全部ひらがなのメールがきます。父は仕事で帰宅が遅くて、ふだんあまり話す時間がありません。だから、父から「きょうのがっこう、どうだった？」というメールが送られてきます。妹は、「お姉ちゃん、大好きだよ!」といったメールを時々くれます。ちょっと照れくさいですけど、うれしいです。

リサ: わたしは1日に3回ぐらいしかしません。メールにすぐに返信しないと、日本の友だちは「何でくれないの〜?」ってよく言います。アメリカの友だちはそんなことないんですけど……。

Q: メールでは絵文字や独特の文字を使いますか。

いずほ: 友だちは絵文字をよく使うけど、ぼくは使いません。絵文字を使うと、ぼくじゃないみたいでいやなんです。だから、友だちからは「怒ってるの?」って誤解されることがたまにあります。



ふだんは何気なく使っているケータイについてディスカッションする3人。ケータイの長所、短所について改めて考えた。

あかね: 以前、絵文字を使わないでメールを送ったら、「これは冗談で言ってるの？ それとも本気で言っているの？」っていうメールが戻って来ました。だから、ふざけて言っていることをちゃんと伝えたいときは絵文字を使うようになりました。

リサ: 英語のメールでも絵文字にあたる emoticon をよく使います。また、“forever” を “4ever” というように書いたり、単語を短くしたり、母音を省いたり、単語のつづりをわざと間違えて使ったりします。そっちのほうがかっこいいから。

Q: ケータイの欠点は何だと思いますか？

リサ: わたしがすごく嫌いなのは、ケータイで大声で話す人。アメリカでは教会や図書館、コンサートで電源を切り忘れる人もいます。

あかね: 電車でケータイのメールとかゲームとかに夢中になっている人を見かけます。席二人分に一人で座っていて、座りたい人がいるのに気づいていなかったりします。ケータイのせいで、人への関心が希薄になっているような気がします。

いずほ: 欠点は依存症になりやすいところだと思います。みんなで話をしながらご飯を食べているときに、ケータイをずっといじっているのを見ると嫌になります。GPSでも時刻表でも何でもケータイに頼って、自分でできなくなるのはこわいなあとと思います。でも一方で、ケータイの機能はすごくてケータイを手放せない自分があるんですよね（笑）。

あかね: それから、多くの人がケータイでプロフやブログをやっていて、プロフに自分の顔写真を貼り付けたり、ブログで知り合った人と会う約束をしたりする人のことを聞きますが、それは危険じゃないかなと思います。

いずほ: 匿名だと何でも書けます。それは、自由ですけど、その半面すごくこわいと思います。ぼくの友だちにも、プロフですごく悪口を書かれた子がいて、すごく悩んでいました。相手がどういう気持ちで言っているのか全然わからないから、見ているほうはいろいろ考えてしまいます。

Q: 明日からケータイが使えなくなったらどうしますか。

リサ: 夜、街を歩くのが少し怖くなると思います。以前、夜に渋谷で男性に10分ほどつけられたことがありました。すぐ友だちに電話をして、ずっと話していました。そうすることで安心できました。

いずほ: ぼくは、遠くの人と話したいときにすぐに話ができないのがいちばんつらいかなあとと思います。

あかね: 不便にはなると思いますが、わたしの生活はあまり変わらないと思います。でも、わからないことがあるときに、友だちにすぐメールして聞くことができないのがいちばん困りますね。夜遅くて家の電話にはちょっとかけにくいときでも、ケータイのメールでなら聞きやすいこともありますから。

いずほ: でも、ケータイがなくなったら、いいこともいっぱいあるかもしれないと思います。まず、人としゃべることが多くなります。例えば、GPSの地図がなかったら、人に道を聞きますよね。

リサ: ケータイがなかったら、もっと自分に責任をもつようになると思います。友だちと待ち合わせをするときも、前もって場所をちゃんと調べたり、連絡がとれないから遅れないように余裕をもって出たりすると思います。

あかね: メール返信がなくて、心配になったり、仲間はずれにしたり、というようなことを時々聞きます。だから、ケータイがなくなったら人間関係がいい方向に変わるような気がします。

リサ: 結局は、みんなが自分の意思をしっかりとって、ケータイを使いすぎないようにすればケータイは楽しいものだと思いますね。



何もつけないシンプルなケータイ。友だちとうつしたプリクラを貼ったケータイ。個性が表れる。

わたしの好きなもの

好きなことば

あかね: ありがとう

いずほ: 今を生きる

リサ: Smile often.

好きな色

あかね: エメラルドグリーン。海の色だから。

いずほ: 紫。なぜか、小さい頃から好きでした。

リサ: 薄いピンク色。美しい桜の花を思い出させてくれるから。

今、熱中していること

あかね: 映画を観て、その原作を読むこと。

いずほ: 日本舞踊

リサ: 日本語の勉強